

つけたい力

エージェンシー

- ・主体的に変化を起こす力
- ・自分で目標を設定して責任をもって行動する能力
- ・自己調整能力を高める力

取組みの概要・ポイント

- ・Wonder (問い合わせ) が持てるようにするために、視覚的な情報「写真」から「問い合わせ」に変える練習
- ・次期学習指導要領を見据えて全学年で週1時間「情報タイム」を実施⇒総合的な学習の時間・生活科など、各教科等の時間に位置付け
- ・担任とSE担当者とのTT⇒各教科の特性に応じた情報活用能力をはぐくむ授業づくり
- ・子どもが力を発揮できる場の設定⇒自己肯定感を育む演劇的手法
- ・全教職員で取り組む体制づくり⇒研修で学んだことを明日の授業実践につなげる

具体的な取組みの内容

情報活用能力 研究主題

デジタルとアナログのハイブリッド
～自ら探究する
子どもの姿をめざして～



思考ツール

思考の仕方
考えるときの方法
考えるときの道具として

問われたことを
答える子ではなく



取り組み①

探究のプロセス

桃山学院大学 木村明憲先生

Task⇒Wonderへ



問い合わせること

見え方が変わること

自己調整

STW (思ふ)
イメージできることが
三か所に入る
問い合わせる

各教科の特性に応じて

生きて働く学力へ

取り組み② 全学年で「情報タイム」を実施

国語

情報タイムで学んだことを
教科学習へ



算数



子どもが力を発揮できる場面

アウトプットする
力を育む

情報の共有の仕方や効率化・
新しい価値を生み出す

デジタル

デジタルとアナログを組み合わせること

ハイブリッド

集中力を高め、より質の高いアイディアや判断に繋げる

取り組み③

全教職員で取り組む体制づくり

①最低でも月1回の研修

便利な使い方

ニーズに応じた内容

②職人の授業を観覧する



③毎日1回はICTを活用した
授業づくりを実践



学び合える場の設定⇒

目標す子どもをイメージする

取組みを通しての子どもの変容

ワークシート集

- ・ICTを活用することで自分の考えをリメイクすることができた。⇒教師から課せられた課題 (Task) を→Wonder (問い合わせ) に変えることができた。⇒問い合わせもてたことで見え方が変わった。
- ・探究のサイクル (集める・まとめる・伝える・表現する) を意識したことで、自らの学習をコントロールする力を育むことができた。⇒自分が納得する答えを見つけることができた。
- ・子どもの思考の中で、情報活用の仕方を学び、自分に合った方法 (ノート、写真、動画) を選択できるようになった。

